

数 学

1		点
〔問1〕	$\sqrt{2}$	5
〔問2〕	$x = -4, y = 3$	5
〔問3〕	$\frac{-9 \pm \sqrt{17}}{4}$	5
〔問4〕	$\frac{5}{36}$	5
〔問5〕 解答例		5

2		点
〔問1〕	$a = \frac{5}{18}, b = -\frac{1}{2}$	7
〔問2〕	$\frac{\sqrt{6}}{6}$	8
〔問3〕 解答例	【途中の式や計算など】	10

OAに平行な直線の式は、 $y = -x + n$ と表せる。
 点P(p, p^2)を通るとき、 $p^2 = -p + n$
 $n = p^2 + p$ であるから、
 $y = -x + (p^2 + p)$
 この直線とx軸との交点Qの座標は、
 $y = 0$ より $x = p^2 + p$ であるから、
 $Q(p^2 + p, 0)$
 同様に、点B($\frac{3}{2}, \frac{9}{4}$)を通り
 OAに平行な直線の式は、
 $y = -x + \frac{15}{4}$
 この直線とx軸との交点Rの座標は、
 $y = 0$ より $x = \frac{15}{4}$ であるから、 $R(\frac{15}{4}, 0)$
 点Aと点Rを結ぶ。
 $\triangle AOB$ と $\triangle AOR$ の面積は等しく、
 $\triangle AOQ$ の面積が $\triangle AOB$ の面積の $\frac{8}{15}$ 倍であるから、
 $\triangle AOQ$ と $\triangle AOR$ の面積比は8:15
 $OQ : OR = 8 : 15$ であるから、
 $(p^2 + p) : \frac{15}{4} = 8 : 15$
 $15(p^2 + p) = \frac{15}{4} \times 8$
 これより $p^2 + p - 2 = 0$
 $(p + 2)(p - 1) = 0$
 $0 < p < \frac{3}{2}$ より、 $p = 1$

〔答え〕 1

3		点
〔問1〕	30 度	7
〔問2〕 解答例	(1) 【証明】	10

△HBGと△FBGにおいて、
 仮定より、
 $HG = PR = BR = FG \dots ①$
 共通の辺であるから、
 $BG = BG \dots ②$
 $\triangle ABG$ と $\triangle AFR$ において、共通の角であるから、
 $\angle GAB = \angle RAF$
 折っていることから、
 $AB = AF$
 $AG = AR$
 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle ABG \equiv \triangle AFR$
 対応する角はそれぞれ等しいから、
 $\angle AGB = \angle ARF$
 $\triangle ARS$ は長方形で、 $\angle ARF = 90^\circ$
 したがって、
 $\angle HGB = \angle AGB = \angle ARF = 90^\circ$
 $\triangle HGB$ と $\triangle FGB$ において、共通の辺であるから、
 $HG = FG \dots ③$
 $\angle HGB = \angle FGB = 90^\circ$
 ①、②、③より、
 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle HBG \equiv \triangle FBG$

〔問2〕 (2) (3a) 度 8

4		点
〔問1〕 (1)	$\frac{73}{6} \text{ cm}^3$	7
〔問1〕 (2)	$\sqrt{6} + 2\sqrt{2}$	8
〔問2〕 解答例	【途中の式や計算など】	10

Mから線分ALに引いた垂線をMKとすると
 MKは線分ALの垂直二等分線であり、
 MKは底面ABCに垂直である。
 $\triangle BAC$ は、 $\angle BAC = 90^\circ$ の直角二等辺三角形
 であり、 $LB = LC$ であるから、
 $AL = \frac{1}{\sqrt{2}} AB = \frac{3\sqrt{2}}{2}$
 よって、
 $LM^2 = MK^2 + LK^2 = 3^2 + \left(\frac{3\sqrt{2}}{2} \times \frac{1}{2}\right)^2 = \frac{81}{8}$
 $IL^2 = IA^2 + AL^2 = \left(\frac{3}{2}\right)^2 + \left(\frac{3\sqrt{2}}{2}\right)^2 = \frac{27}{4} = \frac{54}{8}$
 さらに、△HIGは正三角形であり、
 $GH = \frac{1}{2} EF = \frac{3\sqrt{2}}{2}$ であるから、
 $MI = \frac{\sqrt{3}}{2} GI = \frac{\sqrt{3}}{2} GH = \frac{\sqrt{3}}{2} \times \frac{3\sqrt{2}}{2} = \frac{3\sqrt{6}}{4}$
 よって、
 $IL^2 + MI^2 = \frac{54}{8} + \left(\frac{3\sqrt{6}}{4}\right)^2 = \frac{81}{8} = LM^2$
 が成り立ち、 $\angle MIL = 90^\circ$
 したがって、△ILMの面積をSとすると、
 $S = \frac{1}{2} \times IL \times MI = \frac{1}{2} \times \frac{3\sqrt{3}}{2} \times \frac{3\sqrt{6}}{4} = \frac{27\sqrt{2}}{16}$
(cm²)

〔答え〕 $\frac{27\sqrt{2}}{16}$ cm²